

野辺地まかど温泉スキー場に係るお知らせ

令和4年8月の大雨の影響により、被害を受けて営業を休止している「野辺地まかど温泉スキー場」に係る町の対応について、お知らせいたします。

【町の対応】

これまで、スキー場の復旧・再開に向けて、運営者である十和田観光電鉄株式会社様（以下「十鉄」という。）と町との間で再開方法等について検討・協議を進めてきましたが、同社から、町の財政支援を受けて復旧、運営をする考えがないことが示されたことを受け、町と十鉄間においては、誠に残念ではありますが、スキー場の再開は困難となりました。

【経緯】

十鉄が運営する、野辺地まかど温泉スキー場は、十鉄が、国有地を賃借し、施設を設置・所有し、運営してきたスキー場です。

施設内2ヵ所で土砂崩れが発生し、崩落で第2リフト支柱が倒壊したことなどから、その後は営業を休止しています。

この被害を受け、同社は「復旧し、営業を再開することは難しい。」と、町側に伝えてきました。

しかし、町としては、スキー場が、小・中・高等学校のスキー教室のみならず、冬期間における観光資源として、また、町民の健康増進の場としての役割を果たしていることに加え、スキー場を再開してほしいと議員、町民の皆様及びスキー愛好者等からの要望もあったことから、一民間事業者の施設ではあるものの、復旧・再開に向けて取り組んでいくこととしました。

この間、復旧や施設の初期整備、ランニングコスト等の試算をはじめ、運営体制やその方法に基づく収入面などからの試算、更には、今後想定される事項なども踏まえながら、想定される再開案をイメージしながら検討・協議を重ねて参りました。

そして、町と十鉄及び関係機関との協議を経て、令和5年12月に一つの再開案を示し、議員の皆様にご説明し意見を伺いました。

【提示した再開案と経費試算の概要】

◆第2リフトを復旧した上で、第1及び第2リフトを稼働して再開
(第3リフトは再開しない)

- ・ 復旧・初期整備費 約3億2,100万円
- ・ 再開後の運営費 5年間で約1億2,000万円

合計、5年間で約4億4,000万円を町が負担する。

議員から、「高額な経費はかかるが、町の賑わいづくりとスキーヤーのため、再開してほしい」等の再開を望む声があった一方で、「一事業者に対し、町が運営費まで全額補助することに疑問をもっている。」等の慎重な意見もありました。

議員説明での意見等を受け、町から十鉄に対し、運営費だけでも負担できないかなどを提示し、再度協議を行いました。

同社から、「被災した当初から廃業という選択肢しかないと考えていた」、「スキー場を再開したい気持ちは町と同じであったことから、これまで一緒になり再開方策を検討してきた。」、そして、町側が主体となって運営できないかと示してきたほか、今後、年配の従業員が退職を迎えていく中、その後の運営に係る人材を確保できるかわからない状況において、「町に対し、財政支援等で迷惑をかけるような回答はできない」との考えが示されました。

スキー場の再開には、施設所有者であり、かつ、運営のノウハウを持っている十鉄に、主体的にかかわってもらうことが不可欠と考えるものであり、同社から、町の財政支援を受けて復旧・単独での運営をする考えがないことが示された今、誠に残念ではありますが、スキー場の再開は困難となりました。

【今後について】

今後は、町が管理するクロスカントリーコースとあったかハウス「まかどの森」(町営ヒュッテ)の運営を続け、町のスキー振興を図っていきたいと考えています。

また、スキー場については、他にスキー場の再開・運営に関心を持つ事業者がないか等、調査・情報収集を続けていくこととしております。

【町民の皆様へお知らせ】

当初、復旧・再開案に関して、町民の皆様に向けた説明会を開催し、意見を聞いた上で再開の可否を判断する予定でしたが、提示できる再開案がなくなったことから、説明会等は開催せず、町ホームページや広報等を通じて、スキー場の再開は困難である旨をお知らせしていきます。

令和6年2月20日

野 辺 地 町